

広報

きもべつ

PUBLIC RELATIONS OF KIMOBETSU



2024
令和6年

3

March

Vol.873

特集

地域おこし協力隊 一年間の歩み



地域おこし協力隊

地域おこし協力隊とは、人口減少や高齢化など進行が著しい地方で、都市からの人材を受け入れ、地域課題に対して活動を行いながら移住・定住を目指す制度です。喜茂別町では平成23年から地域おこし協力隊を導入し、現在は6名が活動をしています。今回は、各隊員の今年度の活動や来年度の目標などをご紹介します。



町イメージキャラクター
ウサパラくん

地域おこし協力隊
地お協

一年間の歩み



現在、喜茂別町では6名の地域おこし協力隊が活動しています。地域おこし協力隊とは、地方の自治体が都市からの人材を受け入れ、特産品の開発、情報発信、味の継承などそれぞれの活動をしています。今回は、それぞれがどのようなことに力を入れているのか、今後の取組みなどを紹介します。

こんの
金野 健司さん

【活動内容】

女子野球クラブの受け入れ等準備
・特産品(木製バット)の企画開発や製作

【今年度の活動】

地域おこし協力隊の金野です。令和5年度は地元木材を原材料とした野球バットの作成と、女子野球を通じての交流人口の増加活動を進めてきました。バットに関しては材料調達の見処をつけるところまで進み、交流人口増加についてはホーネット・レディースと町民の皆様との交流を深める活動を現在進めております。

今年度ホーネット・レディースは町内の活動に積極的に参加し、町内の認知度も上がってきたと感じております。来年度はさらに交流を深め基盤を作り、多くの人を町内に呼び込みに繋げていければと考えています。今後とも宜しくお願いいたします。



【バット製作】

ほんま
本間 晃介さん

【活動内容】

町の魅力の掘り起こし・情報発信
・特産品の企画開発

【ついに最終年度になります!】

昨年度に比べ、新型コロナウイルスの影響を受けることも少なく、多くのイベントに参加することができました。特に「夏まつり」や「結愛フェア」では、多くの町民の方と交流することができました。

活動内容のひとつである情報発信業務では、町外の地域おこし協力隊や他業種の方とお話をする機会も増え、少しでも喜茂別町の魅力を発信できるように活動してきました。

そして、もう一つの活動である木を使った特産品の開発では、木製バットの製作や折れたバットから靴べらを製作するなど徐々にではありますが、活動の幅も広がってきました。今後も、協力隊任期後を見据え、継続して活動していきたいと思っております。



【取材中】

おおもり
はなえ
大森 英恵さん



【チャースタ営業】

【活動内容】

・町に根差す食や味を、人口減少、担い手不足などの問題が原因で絶やさないために、「食」と「味」なご「業」を商工会と連携し引き継ぐ

「開業1周年を迎えて」

昨年の6月で郷の駅ホッときもべつチャレンジショップでの営業が1周年を迎えることが出来ました。

ご来店のために来町してくださるお客様やリピーター様も多く、お陰様で多くのお客様に足を運んで頂くことができ、変わらぬ忙しさをさせて頂いております。

今年度から新たな取り組みとして、軽食の販売や喜茂別町以外での出店も開始いたしました。町外での出店ではその土地・時期に合わせた食材での料理をご提供し、いつもとは違う形での営業を行っております。

チャレンジショップを続けている中で、「料理を作ること」「人と関わること」が本心に好きなことを改めて感じ、充実した協力隊の活動が行えております。

しみず
みなみ
清水 南美さん



【クレーブ教室】

【活動内容】

・町の魅力（自然・景観、産物、人物）を発掘し、観光プランの企画提案、主に町外者向けの情報発信など地域のコーディネートに係る活動

「2年目の年、次の年」

着任から2年、活動が少しずつ形になってきたと感じています。「尻別岳登山道整備」は山頂までの道が完成し、仲間とテスト登山を行い、秋には噂を聞いた方々や、トレイルランナーが利用してくれました。当初は2mを超える葉や固い茎に苦労し、「いつ終わるのだろうか」と途方に暮れることもありましたが、道が繋がった瞬間の喜びは格別で、多くの人々にすぐに連絡したことを覚えています。もう一つは、「立ち寄った人々の思い出し、喜茂別町を刻み込み、まずは当町を覚えてもらう」ことを目的に、「写真に撮りたくなるようなインパクトのあるクレーブ」を提供しました。これまでの活動は、応援し見守ってくれた皆さんのおかげです。応援が私の励みになります。引き続きよろしくお願いします。

たじま
ももこ
田嶋 萌々子さん



【剣道教室】

【活動内容】

・歴史資料等のアーカイブ、生涯学習活動全般

「学び」

私の主な活動は、喜茂別町の歴史・文化などの資料を収集し、それを保存・活用していくことです。令和5年度は「学び」の年でした。歴史プロジェクトの会と共催で行ったフットパス事業や、喜茂別小学校の総合学習で行われている歴史の授業に参画して、喜茂別町の歴史について学びを深めました。そこで得たことを生かし、文化祭では「喜茂別町の小学校の歴史」をテーマに、時層写真等を出展しました。

また、剣道を習っていたという経験を生かし、「剣道教室」を開催させていただきました。想定していた人数よりも多くの参加者が集まり、剣道教室を通し剣道人口の拡大に寄与することができました。得た「学び」を生かし、それを活用できるようこれからも頑張ります。

つな
ひでき
綱 英樹さん



【特産品の紹介】

【活動内容】

・ふるさと納税返礼品の発掘・強化、ふるさと納税返礼品に係る事業者と消費者の橋渡し

「今年度を振り返って」

昨年6月に協力隊として活動をはじめ、委託業務である「ふるさと納税の返礼品の開拓と強化」については右も左も分からない手探り状態からのスタートでした。

町では返礼品の開発に向けた補助金を設定していただき、前向きに検討いただける事業者が増えたと感じます。現時点で、2つの魅力的な商品を生産しておられる事業者から新規の出品をいただくことができました。

ふるさと納税の申し込みピークを迎える12月に、出品が間に合った事業者へ注文が入り、事業者と消費者の橋渡しができ嬉しく思います。

まだ準備中の返礼品もありますので、喜茂別町の返礼品を今まで以上に充実するよう活動していきます。

1/29

後志建設工業 感謝状贈呈

令和5年12月3日に発生した町内全域停電による緊急対応にあたり町へ多大な貢献をされたことに際し、喜茂別町より後志建設工業株式会社へ感謝状が贈呈されました。贈呈式では代表取締役 もとひさこうよう 本久公洋様が「ありがとうございます。今後も社会に貢献できるよう目指してまいります。」とお礼を述べられました。



1/30

クロスカントリー表敬訪問

喜茂別クロスカントリースキー少年団5名が第56回北海道中学校スキー大会の成績を報告するため、町役場に表敬訪問しました。出場選手 ふじさわれん 藤沢蓮さんが、うちむら 内村町長へ大会成績の報告を行いました。報告を受けた町長は「これからも体調に気をつけながら頑張ってください」とエールを送りました。本大会において、喜茂別クロスカントリースキー少年団から3名が見事、2月に行われる全国大会への切符を獲得しました。



2/2

喜茂別保育所 節分

喜茂別保育所で節分の豆まきが行われました。園児たちが「鬼のパンツ」を歌い終わると大きな太鼓の音と共に鬼が現れました。突然現れた鬼に園児たちは驚きながらも、恐怖心に打ち勝ち、「鬼は外!福は内!」と一生懸命に豆を投げました。保育所に現れた鬼と共に一人一人の心の中にいる鬼も追い払いました。



2/3

スケート体験

教育委員会主催のスケート体験が泊村「とまりリンク」を会場に開催されました。幼児から保護者まで40名が参加したなか、はじめてスケートをする参加者も多く、いつもとは勝手の違う慣れないスケート靴で恐る恐る氷の上を歩いていましたが、何度か参加している中学生や高学年の児童が手をつないで滑ったり、一緒に遊んだり楽しい時間を過ごしました。



2/9

鈴川小学校スキー大会

鈴川小学校においてスキー大会が開催され、全校生徒9名が大回転競技や距離競技、ジャンプ競技などに出場しました。大回転競技では、転んでしまってもあきらめないで最後まで滑り降りる姿に、観客から大きな声援が送られました。また、ジャンプ競技では、迫力満点の大ジャンプに歓声があがり、会場を沸かせていました。



2/10

シーニックナイト 2024 in きもべつ

郷の駅ホッときもべつを中心に「シーニックナイト2024 in きもべつ」が開催されました。子ども向けイベントの「滑り台ボウリング」や約800個のスノーキャンドル製作、真冬のビアガーデン、花火大会などが行われ、来場者は「キャンドルの温かい灯りに癒されます」「寒いけどビールが美味しいです」と真冬のひと時を楽しんでいました。



大腸がんと検診の話



大腸がんは、男性のがん死亡2位、女性のがん死亡1位の疾患です。

喜茂別町においても、大腸がん検診で、便潜血反応が陽性となり、精密検査を受けている方が多数いらっしゃいます。



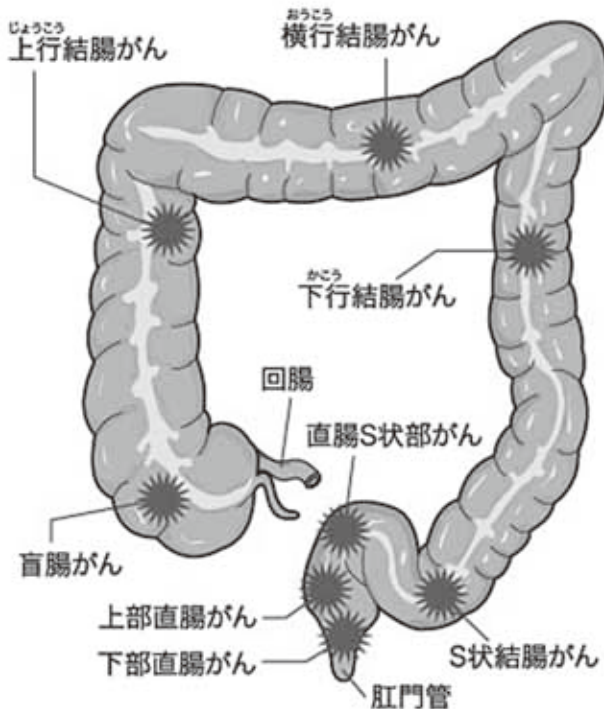
その中のお一人、60代のAさんに、ご自身の体験についてお聞きしました。

Q. 今回、がんの手術をされましたが、精密検査を受けに行こうと思ったきっかけは何でしたか？

A. 「毎年検診を受けているけど、ポリープが出てくる。リスクが高いんだと思う。またかあと考えた。精密検査はもうちょっとあとでもいいかなあと考えたけど、以前にも、がんの治療をしたことがあったから、間を置かずに行くと、処置も早いし、簡単な検査や治療で済む。そうでないと、もうちょっと早くに来ていたらと言っても、あとのまつり。病院にかかっているけど、大腸の検査はしないから、町の健診(検診)はひととおりしたらいいと思う。」とのお話でした。

喜茂別町では、30歳以上の町民の方は、大腸がん検診を、500円で受けることができます。受検できる時期・医療機関等については、ご相談ください。

また、大腸がん検診を受け、陽性だった場合は、必ず精密検査を受けましょう。



部位別発生頻度 (多い順)

がんの部位	発生頻度
直腸がん	26.4%
S状結腸がん	26.4%
上行結腸がん	13.6%
直腸S状部がん	12.5%
横行結腸がん	9.2%
盲腸がん	6.5%
下行結腸がん	4.8%

「大腸癌全国登録」(大腸癌研究会)より

【お問い合わせ先】 元気応援課健康づくり係 電話(IP):55-5831

海外では特にヨーロッパにおいては、自然エネルギーの利用や環境問題への意識がとて高いのが特徴です。今回は、海外や国内ではどのような取り組みが行われているのか紹介します。

イギリス



イギリスでは特にプラスチック削減への取り組みが進んでいます。

〈取り組み〉

- ・ ペットボトルの水を買わなくても済むよう、公共施設や路上等には、無料の給水機を設置。
- ・ 使い捨てのプラスチック製ストローや容器、フォーク等の使用を禁止。
- ・ 再生プラスチックの利用促進を目的に2022年4月、プラスチック包装税制度が施行。プラスチック包装材の製造業者と輸入業者を対象に再生プラスチックの使用量が30%未満の製品に対して課税。

フランス



フランスでは、2025年までに食品廃棄物を50%削減する目標をかかげており積極的に食品ロスの削減に取り組んでいます。

〈取り組み〉

- ・ 2016年に世界で初めての食品廃棄禁止法を制定。一定規模以上の敷地を持つスーパーは、賞味期限切れや売れ残りの食品を廃棄することを禁止し、慈善団体等に食品を寄付することを義務付けました。
- ・ 「Frigos Solidaires」(連帯の冷蔵庫)と呼ばれる冷蔵庫が町中に置かれており、家庭や食品・飲食店等で余ったものを入れたり、必要な人たちが自由に持ち帰ることができます。

日本(環境省)



環境省では2050年カーボンニュートラル及び2030年度削減目標の実現に向けて、「デコ活」を行っています。「デコ活」とは、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動のことです。

デコ活を行う方法として、**デ・コ・カ・ツ**にちなんだ4アクションを筆頭に、計13個アクションをあげ、具体的な方法や補助金等を掲示し国民、消費者の新しい暮らしを後押ししています。詳しくは環境省HPをご覧ください。

「デコ活」4つのアクション

- デ** 電気も省エネ 断熱住宅
- コ** こだわる楽しさ エコグッズ
- カ** 感謝の心 食べ残しゼロ
- ツ** つながるオフィス テレワーク

北海道

北海道は、全国と比べ家庭における温室効果ガスの排出割合が高く、ご家庭での取り組みが重要です。そこで、北海道では、家庭におけるCO₂排出量を可視化できる「北海道ゼロチャレ!家計簿」(アプリ)をリリースしています。

ご家庭で使用された電気・ガスなどの使用量、料金を入力すると、CO₂排出量や削減量を自動で計算してくれます。普段では気づかない節約できる部分が見つけれられるかもしれません。



エネルギー種別毎に自宅のCO₂排出量・削減成果を表示。



アプリのダウンロードはこちら

今回で最後の通信になります。今までいろいろなCO₂の排出を抑える方法や取り組みを紹介しましたが、人によって出来ること、出来ないことは様々です。ですが、小さなことでも出来ることを積み重ねることが大切です。今までの通信がゼロカーボンを考える一助になれば幸いです。

【お問い合わせ先】 まちづくり振興課ゼロカーボン推進係 TEL:33-2211

お知らせ

2024年財務専門官 採用試験のお知らせ

財務省北海道財務局では、財政・金融等のプロフェッショナルとして活躍する財務専門官を募集しております。

■受験資格

【1】1994(平成6)年4月2日～
2003(平成15)年4月1日生まれの者
【2】2003(平成15)年4月2日以降生

まれの者で次に掲げるもの

(1) 大学を卒業した者及び2025(令和7)年3月までに大学を卒業する見込みの者並びに人事院がこれらの者と同等の資格がある者
(2) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び2025(令和7)年3月までに短期大学又は高等専門学校を卒業する見込みの者並びに人事院がこれらの者と同等の資格がある者

■申し込み受付期間

2024(令和6)年2月22日(木)9時～
3月25日(月)中

■受験申込方法

申込みは、インターネットにより行ってください。

<https://www.jinji-shiken.go.jp/juken.html>

■1次試験日 令和6年5月26日(日)

■お問い合わせ

財務省北海道財務局人事課人事係
電話 011-709-2311
(内線4252)

屋根からの落氷雪事故 防止などをお願い

毎年冬になると建物からの落氷雪による死傷事故が発生しておりますので、冬期間は次のことなどに注意をお願いします。
・気温マイナス3度からプラス3度の時は発生しやすいという特徴がある。
・除雪は早めに行い、必ず複数人で実施し、付近で通行人や子供が遊んでいないかなど注意する。

雪庇は少量でも危険であるため、早めに除去する。
軒下では子供を遊ばせない。
落氷雪があった場合は直ちに負傷者がいないか確認するとともに、通行の支障にならないよう除去する。

お問い合わせ先 まちづくり振興課
電話 33-2211

災害への日頃の備えを 再確認しましょう

今年元日に発生した能登半島地震から約2か月が経過しました。災害はいつ起こるかわかりません。いざという時のために、物・心の準備を再確認しましょう。詳しくは広報令和5年9月号の特集を参考にしてください。令和5年7月には喜茂別建設協会から喜



茂別町へ、水害時の水中ポンプ稼働に必要な分電盤2機等が寄贈され、町からは感謝状が贈呈されました。その後、水防共同訓練が実施されています。

善意に感謝します

1月22日、佐野裕子様より喜茂別町にご寄附を頂戴いたしました。頂戴したご寄附は、本町の子育て支援に関する事業に活用させていただきます。ありがとうございました。

学校に備品の寄贈がありました

株式会社北海建業代表取締役 森田孝博様より、町内各小中学校に学校備品の

寄贈がありました。

株式会社北海建業は、今年度会社設立50周年を迎えたことを記念し、子どもたちの役に立てればと、喜茂別小学校には催事用テントと屋外用時計、鈴川小学校には撮影機材、喜茂別中学校には、会議用テーブルと賞状盆がそれぞれ寄贈されました。

贈呈式では、各学校長へ目録の贈呈があり、お心遣いに感謝申し上げます。大切につかわれていただき、ありがとうございます。礼を述べられました。



住民課税務室 税務係より

令和6年度から 「森林環境税」 (国税)の課税が始まります

「森林環境税」は、国内に住所のある個人に対して令和6年度から課税される国税であり、個人住民税均等割と併せて一人年額1,000円徴収されます。平成26年度から年額1,000円(町民税・道民税 各500円)加算されていた東日本大震災関連財源確保のための臨時的措置が令和5年度で終了し、新たに森林環境税が導入されることとなりますので、均等割額としては5,000円が変わりません。本税収は、全額が国によって森林環境譲与税として地方公共団体へ譲与されます。

【個人住民税均等割】

均等割内訳	令和6年度以降	平成26年度～ 令和5年度
町民税	3,000円	3,500円
道民税	1,000円	1,500円
森林環境税 (国税)	1,000円	-

【お問い合わせ先】 住民課税務室税務係
電話:33-2211 IP:33-5011



まちのカレンダー

救急当番病院 農農村環境改善センター 鈴川集落センター ふれあい福祉センター
 町立クリニック 笑み〜な 健康増進センター 喜茂別町武道館 ちびっこ広場
 倶知安文化センター 岩内町高台84-3 ☎0135-62-8373 留産管理棟
 町民公園パークゴルフ場 中喜茂別中学校 喜茂別小学校 鈴川小学校
 喜茂別保育所 双葉克雪管理センター 町民プール 図書室 町営球場

3月

1	金
2	土
3	日
4	月
5	火 転 転免許法定更新時講習
6	水 岩しりべし弁護士相談(事前予約)
7	木
8	金
9	土
10	日
11	月
12	火 開校記念日 転 転免許法定更新時講習
13	水 岩しりべし弁護士相談(事前予約)
14	木
15	金 中 卒業式
16	土
17	日
18	月
19	火 転 転免許法定更新時講習
20	祝 春分の日 訓 卒業式
21	木
22	金
23	土 保 卒園式
24	日
25	月
26	火
27	水 岩しりべし弁護士相談(事前予約)
28	木
29	金
30	土
31	日

4月

1	月
2	火
3	水
4	木
5	金

土 日 祝 救急当番病院 倶知安厚生病院

今月の〇〇な日

3月11日(月)「いのちの日」

2011年3月11日に発生した東日本大震災では多くの命が失われました。命の尊さ、大切さを考え、震災で学んだことを風化させることなく災害に備えることを目的として制定されました。これを機に今一度、防災意識を高めましょう。

四季の歌

喜茂別短歌会

元日で良き年成れと祈る日に

夢なら覚めて大災害が

常連の一人一人の書をはりし

壁に一際夫の書が映える

遠く住む吾子二人より年賀状

「体に気をつけて」同じ文面で

佳き年と祈るもむなし地震起き

航空機炎上先行如何に



村上正彦

佐藤百合子

桑原博美

三間恵子

短歌を楽しむ仲間を募集中!
 一緒に短歌を詠んだり、鑑賞しませんか?
 初めての方もお気軽にご連絡ください。
 (桑原・電話33・2079)

町長のつぶやき

三月といえば卒業・旅立ちの時。
 この頃になると「3月9日」という曲
 の一節を思い出します。

新たな世界の入り口に立ち気づいたことは一人じゃないってこと 瞳を閉じればあなたが瞼の裏にいて、どれほど強くなれたでしょう あなたにとって私もそうでありたい 瞼の裏にはふるさとの姿もあって 欲しいと願います。旅立つみんな頑張れ!

人口と世帯

令和6年 1月末現在



※なお、令和6年1月から外国人について総人口数にカウントし、内数表記としています。

人口	男	976人	(前月比+1人)
	女	983人	(// +1人)
	合計	1,959人	(// +2人)
世帯数		1,164世帯	(// +3世帯)
うち外国人住民		76人	(// +4人)

広報 きも

2024年3月 vol.873

[発行] 喜茂別町
 電話:0136-33-2211(代) FAX:0136-33-3577
 URL:https://www.town.kimobetsu.hokkaido.jp
 E-MAIL:info@town.kimobetsu.lg.jp
 住所:喜茂別町字喜茂別123番地

[編集] 一般社団法人 きもべつ観光協会
 電話:0136-33-3122
 FAX:0136-55-8775
 住所:虻田郡喜茂別町字喜茂別293番地1
 地域振興センターみらい

広報きもべつに関して、お気軽にお問い合わせ下さい。